

南箕輪村むらづくり委員会（第 10 回）会議録

令和 6 年 11 月 5 日（火）
午後 7 時～午後 8 時 40 分

出席報告【出席者 計 24 名】	
むらづくり委員会 (19 名)	山岡 勉 委員 長谷川 義隆 委員 加藤 直樹 委員 高木 武 委員 唐木 茂人 委員 清水 真知子 委員 伊久間 美昭 委員 伊澤 武善 委員 清水 克俊 委員 足立 芳夫 委員（会長） 小椋 信子 委員 平野 幸代 委員 千 菊夫 委員 富岡 順子 委員 入倉 眞佐子 委員（会長代理） 松田 聖一 委員 稲生 正徳 委員 吉川 つづり 委員 三澤 聡 委員
事務局（3 名）	地域づくり推進課長 高橋 地域づくり推進課 企画係長 横道 地域づくり推進課 企画係 清水
オブザーバー（2 名）	株式会社プロジェクトデザイン 亀井 株式会社プロジェクトデザイン 大槻
欠席者（9 名）	酒井 きよみ 委員 北原 泰司 委員 田口 和弘 委員 菅家 美果 委員 唐澤 成江 委員 橋場 麻衣子 委員 宮坂 大樹 委員 原 和彦 委員 井口 千鶴 委員

1. 開会 事務局

2. 会長あいさつ 足立会長

今回は第7回の続きで作業となる。間が空いてしまったがご協力いただきたい。

3. 協議事項

(1) 村民ワークショップ等の情報共有及び分類まとめ作業 オブザーバーより説明

- ① 目的の確認（今後の進め方やゴール等の確認）
- ② 前回までの作業の確認
- ③ 本日の作業の進め方

<作業：グルーピング>

① 以下の4点のワークショップ・懇談会からキーワードを抽出

- ・2023年12月23日 カードゲーム「SDGs de 地方創生」むらづくりワークショップ
- ・2024年7月27日 南箕輪村のみらいを語り合うわかもの・むらづくり委員会ワークショップ①
- ・2024年8月9日 代表者懇談会
- ・2024年8月10日 南箕輪村のみらいを語り合うわかもの・むらづくり委員会ワークショップ②

② ①で抽出されたキーワードを、以下の7点に分類分け（今回の作業分）

- ・「人口」の課題
- ・「経済」の課題
- ・「環境」の課題
- ・「暮らし」の課題
- ・代表者懇談会 出席団体の取組み
- ・代表者懇談会 出席団体の現状と課題
- ・未来から現在へ 手放すもの

③ 「大事」だと思うキーワードへのシール投票

④ 抜け・漏れがあると感じたことに対する意見収集

【委員からの意見】

- ・ この短期間で時代が変わってきている。特に特殊詐欺や闇バイトといった犯罪は都会から地方へと移ってくると感じるが、防犯に対する言及が見当たらない。
- ・ 空き家が増えてきている。それを今後どうしていくかを考えていく必要はますます必要となると感じる。
- ・ 子育て環境で、今の子ども達がよりプラスに働く意見が多くみられたが、母親や保護者への支援、ヤングケアラーの子どもに対する金銭的な支援は整っているが、それでは幸せにならないという話を聞いたことがある。実際に家事や介護をしている子どもたちが変わってもらえるといった制度を整える必要があると考える。
- ・ （上記の意見に付随して）地域コミュニティで、仕組みづくりをする必要があると考える。助け合

いができ、誰もが声をあげられる社会になる必要がある。

- ・ 自然環境で外来種（アレチウリ等）、耕作放棄地の管理など。農地転用は難しいが、耕作放棄地を簡単に転用・利用できる制度が必要だと考える。
- ・ 村への移住者がたくさんいる中で、学校が満タンとなっている。南箕輪村の小学校が上伊那で一番のマンモス校となっており、課題も多く出てきている。児童クラブも増設されたがすでに満タン。低学年の受け入れのみで残りは小学校の図工室や家庭科室を使って児童クラブを行っているといった現状がある。子どもの居場所づくりがもはや学校では対応しきれない。
- ・ （上記の意見に付随して）外国人児童や障がいのある子に対する教育への支援も抜けていると考える。
- ・ 文化や芸術、スポーツといった生涯学習・社会学習に対するキーワードが少ないと感じた。
- ・ 障がい者福祉に関するキーワードが無かった。
- ・ 「いつまでも幸せ（に暮らせる）」「安全安心な住環境」なども必要ではないか。

④ 次回にむけての確認

4. その他

今後の日程について 事務局より説明

第 11 回南箕輪村むらづくり委員会 11 月 19 日（火）19 時～ 役場講堂

5. 閉会 事務局